

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	河川事業				
地区名	一級級河川 豊川水系間川				
事業箇所	豊橋市				
事業のあらまし	<p>間川は、一級河川豊川の15.6kmに合流する左支川で豊橋市と新城市の市境を水源とし、丘陵地を西流して豊川の氾濫原に出て、その後ほぼ南流して豊川に注ぐ流域面積22.6km²、法河川延長約6.4km(愛知県管理区間開始点2k700においては流域面積15.6km²、法河川延長3.74km)の一級河川である。</p> <p>当該流域では、昭和36年6月豪雨などによる浸水被害を受けており、建設省により昭和40年に豊川支川間川の河川計画が作成され、昭和41年度より改修事業が開始された。その後、昭和45年に河川計画の変更がなされ、建設省および愛知県において一次改修が5k400まで行われている。愛知県では昭和62年に一級河川間川全体計画書を作成し年超過確率1/5(1時間雨量46mm)の規模の洪水に対し安全に流下させることを目標に、河道の拡幅や掘削、橋梁の改築等を実施している。</p> <p>本事業は流下能力が著しく低い中吉祥橋上流の5k969地点落差工から6k218地点落差工区間の重要水防箇所を解消するため5k835(整備済地点)から6k270(上吉祥橋)までのL=435m間を優先区間とし河川改修を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>・年超過確率1/5(1時間雨量46mm)規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、平成35年までに整備を完了させる。</p>				
計画変更の推移		事業採択時(H19)	再評価時(H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H19~H35(予定)	H19~H35(予定)	変更なし	
	事業費(億円)	6.09	6.09	変更なし	
	経費内訳	工事費	4.64	4.64	変更なし
		用補費	1.32	1.32	変更なし
	その他	0.13	0.13	変更なし	
	事業内容	河道拡幅 河床掘削 橋梁改築 事業延長L=435m	河道拡幅 河床掘削 橋梁改築 事業延長L=435m	変更なし	
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <p>・昭和36年6月豪雨などで浸水被害が発生しており、下流から改修事業を進めているが、5k835(吉祥橋上流160m地点)より上流の未改修区間では、流下能力が不足している。特に5k969地点落差工から6k218地点落差工の区間は著しく流下能力が低く、重要水防箇所に位置付けられていることから、河川の整備が急務となっている。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>・事業採択時(平成19年)以降、浸水被害の報告は確認されていない。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>・平成19年から27年にかけて、豊橋市の人口は0.9%減少しているが、世帯数は4.6%増加している。また、土地利用状況は、平成19年から27年にかけて、宅地が3.2%増加し、農地は1.9%減少している。このことから、河川への雨水の流出量は、ほぼ同程度と推定できる。(豊橋市に対する半尻川流域の面積比率は9.2%である。)</p>			

	判定	<p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																					
		<p>【理由】 浸水の危険性は事業採択時から大きく変化していないと考えられる。</p>																																																																																					
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H19～H23(5年)</th> <th>H24～H28(5年)</th> <th>H29～H33(5年)</th> <th>H34～H35(2年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td>←</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・河道改修</td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・橋梁改築</td> <td></td> <td>←</td> <td>←</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td>1.69</td> <td>1.69</td> <td>3.29</td> <td>1.32</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td colspan="2">1.48</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.181</td> <td>0.081</td> <td>44.8%</td> <td>0.435</td> <td>18.6%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>3.38</td> <td>1.48</td> <td>43.8%</td> <td>6.09</td> <td>24.3%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.93</td> <td>0.48</td> <td>24.9%</td> <td>4.64</td> <td>10.3%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>1.32</td> <td>0.54</td> <td>40.9%</td> <td>1.32</td> <td>40.9%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.13</td> <td>0.43</td> <td>330.8%</td> <td>0.13</td> <td>330.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 護岸工 L=81m 用地 A=2,589 m² (必要用地の50.5%)</p>			H19～H23(5年)	H24～H28(5年)	H29～H33(5年)	H34～H35(2年)	工種 区分	調査・設計	←		←		用地補償	←		←		工事		←	←		・河道改修		←	←		・橋梁改築		←	←		事業費(億円)	前回計画	1.69	1.69	3.29	1.32		実績	1.48					これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.181	0.081	44.8%	0.435	18.6%	事業費(億円)	3.38	1.48	43.8%	6.09	24.3%	工事費	1.93	0.48	24.9%	4.64	10.3%	用補費	1.32	0.54	40.9%	1.32	40.9%	その他	0.13	0.43	330.8%	0.13	330.8%
			H19～H23(5年)	H24～H28(5年)	H29～H33(5年)	H34～H35(2年)																																																																																	
	工種 区分	調査・設計	←		←																																																																																		
		用地補償	←		←																																																																																		
		工事		←	←																																																																																		
		・河道改修		←	←																																																																																		
		・橋梁改築		←	←																																																																																		
	事業費(億円)	前回計画	1.69	1.69	3.29	1.32																																																																																	
		実績	1.48																																																																																				
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																		
計画【①】		実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																		
延長(km)	0.181	0.081	44.8%	0.435	18.6%																																																																																		
事業費(億円)	3.38	1.48	43.8%	6.09	24.3%																																																																																		
工事費	1.93	0.48	24.9%	4.64	10.3%																																																																																		
用補費	1.32	0.54	40.9%	1.32	40.9%																																																																																		
その他	0.13	0.43	330.8%	0.13	330.8%																																																																																		
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・隣接する県道の計画との調整に時間を要し、工事の着手が遅れたため。</p>																																																																																						
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 用地取得</p> <p>【今後の見込み】 未取得用地はあるものの、懸案であった隣接する県道の計画との調整がつき、今後用地取得と整備を進めることで、計画通り平成35年に完了する見込である。</p>																																																																																						

判定	B	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化しており、今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
	<p>【理由】</p> <p>懸案であった隣接する県道の計画との調整がつき、今後大きな阻害要因は見込まれないため、計画通り平成35年までに完了する見込である。</p>	
III 対応方針		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後 年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模同等の降雨が発生した場合にその効果を検証すること。 <p>【主な評価内容】</p>		

